



ニコース・ダイジエスTNAHA

## 白い石積みが見える風景

歴史とダムをつなぐもの

文化に親しむこの時節、首里では琉球王朝時代の古式ゆかしい行列が行われ、周辺は毎年賑わいを見せる。

首里文化の象徴「首里城」。その城壁は見事なつくりで、積まれた石のひとつひとつが芸術作品のようである。

先日おとすれた場所に首里城の城壁を彷彿させる石積みを見ることができた。金城ダムである。首里の弁ヶ岳を源流とする安里川の洪水を防ぎ、正常な流水を行う役目を担っている。ダム内には県指定文化財の「ヒジ川橋及び取付道路（石畳道）」（御茶屋御殿から識名園にいたる途中の金城川（現安里川）に架けられた石橋とその取り付け道路。18世紀後期の建造と推定）が横断しており、保存のため、貯水池を上下池と下池の2つに分けたという。

下池をせき止めている堤体の下流面は首里城の城壁をイメージし、琉球石を

文化に親しむこの時節、首里では琉球王朝時代の古式ゆかしい行列が行われ、周辺は毎年賑わいを見せる。

首里文化の象徴「首里城」。その城壁は見事なつくりで、積まれた石のひとつひとつが芸術作品のようである。

先日おとすれた場所に首里城の城壁を彷彿させる石積みを見ることができた。金城ダムである。首里の弁ヶ岳を源流とする安里川の洪水を防ぎ、正常な流水を行う役目を担っている。ダム内には県指定文化財の「ヒジ川橋及び取付道路（石畳道）」（御茶屋御殿から識名園にいたる途中の金城川（現安里川）に架けられた石橋とその取り付け道路。18世紀後期の建造と推定）が横断しており、保存のため、貯水池を上下池と下池の2つに分けたという。

下池をせき止めている堤体の下流面は首里城の城壁をイメージし、琉球石を

新 **NAHA** おぼし <sup>⑩</sup>

## 第20回 那覇市障害者運動会



日 時 11月17日(日)  
午前10時～午後4時

場 所 開南小学校(雨天の場合は体育館)

参加対象 市内在住の身体・知的・精神障害者とその家族・民生委員・福祉関係者など

お問い合わせ (社)那覇市身体障害者福祉協会 ☎885-0420(FAX共通)

## 第37回 首里文化祭

主催:首里文化祭実行委員会/協力:那覇市・那覇市観光協会

**「祝賀パレード」**

11月3日(日)13:30~16:30  
首里蔵校→蔵門通り→蔵前→山川(交差点)→池端三叉路→博物館前→美事本部前→島郷文庫前

**「古式行列」**

11月3日(日)13:00~15:00  
首里蔵正殿前御蔵前→蔵門→池端三叉路→博物館前→美事本部前→島郷文庫前

**「首里文化祭ストリートフェスタ」**

11月3日(日)17:00~20:00  
首里蔵蔵通り(万松院入口~芸大入口)

**「民衆の囃子を聞こう」**

11月3日(日)18:00~19:00  
県立博物館敷地内

**「伝統芸能」(首里城に協力)**

11月2日(土)18:30~21:00  
首里蔵蔵ホール

**「伝統芸能」(首里城に協力)**

11月2日(土)14:30~15:30  
首里蔵蔵ホール

**「伝統芸能」(首里城に協力)**

11月2日(土)14:30~15:30  
首里蔵蔵ホール

お問い合わせ 首里文化祭事務局 ☎886-5547

## 第25回 那覇市生涯学習フェスティバル

楽しもうよ!生きがいあるなはのまち!  
体験教室、講演会、etc...いろいろあるよ!!

開 催 11月23日(土)  
10:00~16:00

場 所 那覇市民会館及び周辺

主 催 那覇市・那覇市教育委員会

お問い合わせ 那覇市教育委員会社会教育課 ☎853-5775 松島中学校3年 宮里 君 作



マスコットキャラクター「サッシーくん」



## わたしのオリジナルで挑戦

～あなたの創る「ハーブ料理コンテスト」～

11月14・15日に開催される「全国ハーブサミット」のイベントとして10月19日(土)に、あなたの創る「ハーブ料理コンテスト」が開催されました。

県内69作品の応募の中から、第一次書類審査を通過した15作品が出場し、タイムやローズマリーなど西洋料理に使われるハーブに加え、イチゴやブルーベリーやフーチーなどの身近な食材を使った料理が創作されました。審査の結果、最優秀の那覇市長賞に首里山川町の城間功さんが選ばれました。



## 地域と大人で子どもを守ろう

県民一斉行動那覇市民大会

児童生徒が被害者となる児童買春事件が多発する中、去る10月18日(金)に那覇市民体育館において、「子どもは社会の宝」・子どもを守り育てる県民一斉行動那覇市民大会が、大勢の市民や関係者が参加して行われました。

あいさつに立った翁長市長は、「すべての大人がモラルを守り、生活態度を見直し、子どもたちの手本となりましょう」と訴えました。大会では最後に、市民大会アピール文を読み上げ、閉会しました。



## 首里井ヶ嶽から自立支援

～那覇市母子生活支援センター(仮称)新築工事安全祈願祭～

10月1日、首里井ヶ嶽町愛生寮跡地で、那覇市母子生活支援センター(仮称)の新築工事安全祈願祭が行われました。この施設は、母子世帯の生活支援ばかりでなく、子育てに対する相談機能も併せ持つ、地域にひらかれた自立支援施設です。

祈願祭に参加した翁長市長は、「近年、児童をとりまく環境の変化は著しいが、母子世帯に対する精神的・経済的な生活の安定を図る自立支援施設の着工は、大きな意義があり、関係者の皆様には心から感謝します」と挨拶しました。



## 自立促進の手助けに

障害者生活支援センターゆいゆい開所

在宅の障害者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源活用の手助け、ピアサポート(障害者自らが相談員)や介護相談を総合的に行う「障害者生活支援センターゆいゆい」(那覇市社会福祉協議会内)が10月1日にスタートしました。

開所・看板設置式では在宅の障害者や関係職員が見守るなか、あいさつに立った系教健康福祉部長が「障害者の方やその家族がセンターを活用することで、自立と社会参加の促進を図ります」と開所の目的を述べました。

ニコース・ダイジエスTNAHA